

SUNSHOW GROUP

タイトル

地域から日本全国へ SDGs ビジネスモデルの推進



(関連するゴール 1、5、8、10、11、17)

項目	内容
地域	私たちの活動は、日本の地方都市である岐阜市を中心とした、岐阜県内全域を対象としています。
背景	SUNSHOW GROUP は、日本の地方にある建設業の中小企業です。良好な生活環境の確保が困難な方の住宅取得に貢献すること、更には良好な地域コミュニティの創出と、防災意識の高いまちづくりを支援することを目的として事業を展開しています。また働きがいのある職場を実現し、持続可能な企業基盤を構築することを目的とし、女性活躍と働き方改革を推進し、その実践事例を講演やコンサルティングを通して全国の企業、団体に普及しています。
プラクティスの目的	<p>少子高齢化や、非正規雇用の増加により、日本では所得格差が問題となっています。低所得層においては教育等にかかることができる費用が少なく、満足な教育が受けられずに貧困のスパイラルに陥るケースも少なくありません。そこで低価格高品質な注文住宅「SUNSHOW 夢ハウス」を展開し、高額な住宅ローンで生活費を圧迫することなく、教育やそれぞれの夢に投資する余裕を持ったままマイホームを取得することで、生活の質の向上から、貧困のスパイラルの脱却をお手伝いしています。</p> <p>2017年12月に外国籍の方専門の住宅相談窓口「SUNSHOW GLOBAL OFFICE」を開設しました。英語とポルトガル語の通訳を雇用し、異国の地で住宅を取得するための複雑な手続きを安心して進められるほか、日本人を中心とした地域コミュニティと外国籍のお客様との架け橋となり、国籍を超えた新たな地域コミュニティの創出を行っています。</p> <p>地震や洪水など、近年の日本では強大な自然災害への対策が必要不可欠です。そこで行政に頼りきりの防災から、各世帯が積極的に関わる防災への転換が必要であると考え、「キャンプできる庭」を提供しています。各住宅にアウトドアの要素を加え、非常時には防災の拠点となるような住宅づくりを目指しています。</p> <p>SUNSHOW GROUP の女性活躍推進・働き方改革においては、従業員</p>

	<p>と家族、関係協力業者も含めて包括的に取り組んでいます。「チーム夢子」というダイバーシティ推進グループを立ち上げ、子連れ出勤やキッズスペース設置、風土改革を実践。その成功事例を、関係各政府機関と連携した講演活動を通して、様々な地域での普及に努めています。</p> <p>日本の地方にある中小企業としては初めて、SDGs 達成の為の発信拠点である「SUNSHOW.BASE」を開設しました。ここでは、ワークショップ等の開催で教育機会の創出を行うほか、SDGs を身近に感じられる機会を設け、地域住民がそれぞれ SDGs について考えることにより、住民から地域全体での SDGs 達成への枠組みを構築しています。地方の中小企業が、様々なパートナーと連携し、SDGs をビジネスを通して達成を目指し、新たな価値を創造する場となっています。</p>
<p>主要ステークホルダーとパートナー</p>	<p>主なステークホルダーは、お客様と従業員と協力業者会です。SUNSHOW GROUP の事業を通して関わるすべての人が対象となります。SUNSHOW GROUP の事業は SDGs 達成への取り組みと連動し、すべてのステークホルダーに対して新たな価値を創造します。この活動が社会課題の解決につながっています。また事業の枠組みを超えた企業、団体、政府機関とパートナーシップを図り、このビジネスモデルが SUNSHOW GROUP だけでなく、日本全国の発展に寄与できるよう、普及活動を行っています。</p>
<p>プロジェクトの実施/活動について</p>	<p>「SUNSHOW 夢ハウス」: 低価格高品質な注文住宅の提供により、住宅ローンで生活費を圧迫せず、マイホーム取得を可能にし、経済的弱者を置き去りにせず、住環境の向上を実現しました。さらには夢や教育への投資により、貧困のスパイラルからの脱却を実現し、【GOAL1】の達成に貢献しています。</p> <p>「SUNSHOW GLOBAL OFFICE」: 住宅取得における外国籍の方専門窓口を岐阜県可児市にオープンし、日本で永住する外国人のサポートを本格化しました。各言語に対応した通訳を雇用し、借り入れから住宅取得、そして生活の相談まで幅広く対応しています。住宅取得をきっかけに外国人の地域コミュニティの参加率を上げ、良好な関係を築くことをサポートしています。外国人と地域コミュニティの共生が、地域の治安向上に貢献しています。結果、【GOAL10】の達成に貢献しています。</p> <p>「キャンプできる庭」: 住宅の庭にアウトドアの要素を取り入れることにより、何気ない普段の生活の中に、いざという時に役立</p>

	<p>つアウトドア用品やその知識に触れ合うきっかけづくりを提唱しています。また、屋外で緊急用備蓄スペースを確保したりと、被災した際にもまずは各家庭がそれぞれ対応できる住まいづくりを提唱し、災害に強いまちづくりを各世帯からまち全体に広げています。結果、【GOAL11】の達成に貢献しています。</p> <p>「チーム夢子」：ステークホルダーの家族を含むダイバーシティ推進グループを組織し、子連れ出勤やキッズスペース設置、風土改革や休み方改善、社員の表彰制度などを整備しました。協力業者においては、働き方が不安定な一人親方の問題にも着手し、工務店グループの立ち上げ提案など、その活動は多岐に渡ります。また厚生労働省、国土交通省と連携し、社内での実践事例を全国40ヶ所約2,000社に対して発表。さらに公益社団法人日本青年会議所と連携し、全国695支部35,000社の企業に向け、自らがロールモデルとなり、全国にそのノウハウ提供と推進を行っています。結果、【GOAL5,8】の達成に貢献しています。</p> <p>「SUNSHOW.BASE」：2018年3月、SDGsの発信基地を岐阜市にオープンし、来訪者数は既に5,000人を超えました。地方の中小企業がSDGs達成に積極的に取り組み、企業成長につながる先進的な事例を示しています。また市民参加型のイベントを開催、体験を通してSDGsを身近に感じてもらう機会を創出しています。さらにステークホルダー全体でSDGs達成への取り組みをそれぞれが考え、SNSを活用し一人一人がコミットしていく活動を行っています。結果、【GOAL17】の達成に貢献しています。</p>
<p>結果／アウトプット ／インパクト</p>	<p>SUNSHOW GROUPでのそれぞれの事業ごとにSDGs課題解決の目標を立て取組んでいる。</p> <p>① 「SUNSHOW 夢ハウス」は低価格高品質な注文住宅の提供により、年間50件のマイホーム取得を実現し、低所得層の貧困スパイラル脱却を支援</p> <p>② 「SUNSHOW Global Office」は外国籍の方のマイホーム取得を応援。オープン前約28%だった外国籍のお客様が46%に増加。</p> <p>③ 「キャンプできる庭」は地場のアウトドアブランド「CAMP MANIA PRODUCTS」とコラボレーションし、ソフト、ハード両面での防災意識向上に貢献。</p> <p>④ 「チーム夢子」は積極的な女性管理職の採用、子育てママの採用、ダイバーシティの考えに基づいた働き方改革を実践</p>

	<p>し、会社全体の女性比率も平成 23 年の 14%から平成 30 年には 39%まで増加。さらにグループ全体では 50%と、建設業界の平均である 13%を大きく上回っている。</p> <p>⑤ 「SUNSHOW. BASE」は SDGs に取り組む企業や地域住民への普及活動の発信基地。イベントを通して 100 名を超える SDGs 認知を向上した。また SDGs 達成の取り組みを積極的に行うことが、企業成長の機会となり、地方の中小企業が持続的に取り組んでいく先進事例として、ロールモデルとなる活動を行っている。</p> <p>これらの活動が日本政府に認められ、外務省主催の「第二回ジャパン SDGs アワード」において特別賞を受賞することができました。</p>
<p>可能にした要因（実現要素）と制約</p>	<p>中小企業であっても、経営者がトップダウンで事業を通した SDGs 達成を推進してもその目標達成は難しいです。やはり現場で働く従業員に如何に浸透させるかが重要な要素となりました。</p> <p>そこで従業員にとって一番身近に恩恵が感じられる、社内の風土改革から取り組みました。社内のダイバーシティを推進するグループ「チーム夢子」を組織し、女性活躍や働き方改革を実行しました。自らが働く環境が整うことで、お客様をはじめとしたすべてのステークホルダーに対して貢献する土壌ができました。</p> <p>次に SUNSHOW GROUP の 5 つの事業 6 ブランドすべてを SDGs 達成に向けた取り組みに変換し、社内外へ発信しました。最初は SDGs というキーワードが従業員には浸透しませんでした。毎朝の朝礼において 1 日 1 つ SDGs 達成のゴールを掲げ、それぞれの従業員がそのゴールに対してどのように考え、どのように行動するかを具体的に発言する機会を設けました。また全従業員が胸に SDGs のホイールバッジを身につけ、常に意識しながら業務に取り組めるようにしています。また月に一回の全体会議では、SDGs に関する勉強の時間を設けて、SUNSHOW GROUP の事業がどのように貢献しているのかを学んでいます。</p> <p>これら一つ一つの行動が、社内での SDGs 浸透に繋がり、SUNSHOW GROUP 一丸となってその取り組みを加速させることに成功しました。</p>
<p>持続可能性と再生可能性</p>	<p>SUNSHOW. BASE という SDGs の発信を行う拠点をすることで、SDGs 達成に取り組む企業への啓発活動を行うほか、地域住民の方へ広く SDGs を普及する機会の創出を行っています。この活動を通じ</p>

	<p>て新たな事業の展開等を加速させ、SDGs に取り組む企業の企業成長の場ともなっています。SDGs への取り組みと企業成長が結びつくことで、中小企業にとって本当の意味で持続可能な取り組みが可能であり、SUNSHOW GROUP の取り組みはその先進的な事例として地域から全国、そして世界の企業が SDGs 達成へ取り組むロールモデルとなっています。</p> <p>今後も持続可能な社会へ、イノベーションを通じ「女性活躍」「青少年育成(教育)」「地域」を3本柱として、企業活動を通して様々な社会問題の解決に貢献することを目標としています。またSUNSHOW GROUP だけでなく地域全体が持続可能な取り組みのサイクルを生み出せるように、段階的に活動をおこないます。まずはSUNSHOW GROUP で行っている取り組みについては、「SUNSHOW. BASE」での発信を通じて定期的に評価を行い、PDCAのサイクルを回します。また定量的な成果として達成目標に対する進捗を明確にします。このことにより、今後SUNSHOW GROUP だけでなく、他企業・団体のロールモデルとして、活用できる実践事例を積み上げていきます。次に関係協力業者会を始め、弊社のステークホルダーとパートナーシップを結び、SDGs 達成に向けたさらに強いネットワークを構築します。そして地方自治体や関係各省庁と連携を民間から推進し、自治体と企業、そして地域住民を巻き込み、地域全体でSDGs 達成に向けて取り組む環境を作り、そのムーブメントを岐阜の地から発信していきます。</p>
<p>結論</p>	<p>私たちがこれまでの活動を通して学んだことは、SDGs 達成に向けて段階的な取り組みが重要であるということです。それぞれの段階ごとに要点をまとめました。</p> <p>① 風土改革</p> <p>SDGs 達成に向けた取り組みを考え、実践するのは人材です。私たちは地方の中小企業です。多くの中小企業がそうであるように、SUNSHOW GROUP も経営者の考えが浸透しやすく、組織としてありたい姿や、事業の方針などへの影響は非常に大きいです。しかしSDGs を達成するためには、一人ひとりが自分事として向き合い、その輪を拡げていくことが重要になります。そこで私たちはまず従業員が満足して働ける土壌作りから始めました。土壌ができるから人材が育ち、そこで育った人材がSDGs 達成に向けた取り組みを広げていくものと考えています。</p> <p>② 社内のSDGs 浸透</p>

	<p>SDGs というキーワードはまだ日本では一般的ではなく、内容を知らない従業員もたくさんいました。そこで SDGs を一人ひとりが向き合う時間を作りました。毎朝の朝礼で SDGs に対する小さな取り組みを考え、1 日の中で実践していきます。このような小さな行動の積み重ねが、SDGs というキーワードの浸透に非常に重要です。そして SUNSHOW GROUP の 5 つの事業 6 つのブランドの活動をそれぞれ SDGs 達成に向けた取り組みに転換し、新たな価値創造の機会を創出しました。新たな価値の創造は新たなビジネスチャンスとなり、事業拡大の大きな原動力となりました。</p> <p>③ 社内外への発信</p> <p>SDGs 達成に向けた取り組みを発信する広報活動にも力を入れました。外部に発信することにより、私たちの活動が本当に価値のあるものなのか、客観的に評価を受けることができます。目標へのコミットも、外部に向けて行うことで、責任感が生まれ、私たちの活動の推進力にもなりました。結果「第二回ジャパン SDGs アワード」での受賞することができ、私たちが SDGs 達成に向けて行っている取り組みの自信にもつながりました。</p> <p>④ パートナーシップ</p> <p>SDGs 達成に向けた取り組みをより加速させるには、パートナーの存在が重要です。私たちは SDGs 達成の発信基地として「SUNSHOW. BASE」を開設し、一般市民や行政、企業、各団体が SDGs に触れる機会を創出しました。ここでは普段の企業活動では出会うことのない、全国各所から様々な訪問者があり、SDGs の普及推進や、新たなビジネスの創出などを実現しています。</p> <p>このように段階的に SDGs 達成への取り組みを持続させることで、社会課題をビジネスを通して解決し、パートナーシップにより新たな価値を創造することができています。</p>
実施に必要な資源	「すべての人々の幸福をサポートしたい」と考えた授業員／技術的専門知識
連絡の詳細	三承工業株式会社ダイバーシティ推進室 SDGs 担当 神田純代 kanda@sunshow.jp 058-275-5556
他の情報源	https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/award2_10_sunshowgroup.pdf 第 2 回「ジャパン SDGs アワード」SUNSHOW GROUP http://www.sunshow.jp/

三承工業株式会社

<http://base.sunshow.jp/>